

「^{どうなんざん}童男山ふすべ」

- 開催日 令和2年1月20日（月）
- 時 間 午前10時～11時
- 場 所 八女市山内1281 童男山古墳（1号墳） 前
なお、雨天の場合は「ふれあいの家 南筑後」にて開催
- 観覧料 無料
- 交 通 九州自動車道 八女ICより車で約15分
駐車場（無料）あり
- 問合せ 八女市文化振興課 文化係
☎0943-24-8163 <直通>

○概 要

毎年1月20日、八女市山内の「童男山古墳（1号墳）」前で行われる行事。

山内には、紀元前の頃、中国・秦の始皇帝の命を受けて、“不老不死”といわれる霊薬を求めて旅した徐福が、嵐により難破して当地に打ちあげられ、地元民が枯れ木や落ち葉を“ふすべて”身体を温めたといわれ、この行事は江戸時代に始まったと伝えられます。

当日は、古墳一帯を掃き集めた落ち葉に点火し、地元・川崎小学校6年生児童らが、徐福とふすべを物語にした紙芝居を上演します。

終了後、町内会と「童男山古墳・犬尾城址保存会」の皆さんたちにより、ぜんざいがふるまわれます。



↑ 枯れ木などを“ふすべる”



↑ 紙芝居の上演（石室前）